

**ちよつと小耳に**



**笑三郎さん  
長門をPR**

いちかわ えみさぶろう  
**市川笑三郎** さん  
 歌舞伎俳優

長門市のイメージアップと文化・観光振興を図ることができればと、歌舞伎俳優の市川笑三郎さんがこのほど「長門ふるさと大使」に委嘱されました。

笑三郎さんは、市川猿之助一門で若手女方として全国各地で幅広く活躍中の歌舞伎俳優。昨年11月には、ルネッサながとで上演された第2回山口県総合芸術文化祭メインステージ創作舞台「長門鯨回向外伝」の脚本・演出を手掛けられ、大変好評を博しました。

2月8日(日)にルネッサながとで行われた委嘱状交付式では、松林市長から委嘱状を手渡され、「大きな声でただいま!とりたい気持ち。長門の文化芸術に対する情熱と一生懸命さにも感動しました。いろいろな場所で長門のすばらしさを伝えていきたいです」と意気込みを語られています。

自身が手掛けた「長門鯨回向外伝」についても、「みずみずしいエネルギーが舞台から発せられていた。長門の舞台力はすばらしいですね」と感想を話す笑三郎さん。「再演や次回作にもぜひ挑戦してみたいですね」と舞台創作への意欲も、今後の活躍に期待が高まります。

**熱血! 新鮮力**

**常に緊張感を持って**



ありた せいいち  
**有田清一** さん  
 長門市消防本部 勤務

※仕事は 中央消防署第1小队第2分隊に所属し、救急・救助活動や市民の皆さんからの出動要請を受ける通信指令業務などを行っています。人の命に関わることなので、常に緊張感を持って臨んでいます。

※動機は 人の役に立つ仕事が出来たと思ったこと、消防団員だった祖父の影響を受けました。

※趣味は 走ることです。学生時代から長距離をやっていて、今でも毎日最低1時間は走っていますね。山口国体や九州1周駅伝に県代表として出場できたらいいなと思っています。

※好きなタイプは 優しく、共通の趣味を持てる人がいいですね。

※自由に一言 まだまだ新人ですが「長門消防の有田」を皆さんに知っていただけたらいいと思います!



**連絡帳 俵山小学校**



**四代目 俵山子ども歌舞伎**

やまね りょう  
**山根 陵** さん  
 俵山小学校 6年

おそろく、今まで生きてきた中で一番緊張していました。四代目として、初めての歌舞伎の発表がルネッサの大舞台だったので。

ぼくたちは、6年生が卒業する前に「白浪五人男」を受け継ぎ、練習を始めます。台詞の言いまわしをくり返し練習して、立ち位置、歩き方、きめポーズなど動きを覚えます。女歌舞伎保存会の方々がいねいに教えてくださいます。

そして、ルネッサでの本番。花道へののれんの後ろで、五人男はみんな顔をひきつらせて、なんとか落ち着こうとしていました。幕があき、一人また一人と花道に出て行く大きな拍手が聞こえました。たくさんのお客さんに頭が真っ白になっ

てかさを強くにぎりしめました。お客さんがじつとぼくたちの演技を見てくださったので、力強く、堂々と演じることができました。終わったときの大きな拍手は忘れられません。

ぼくたちも俵山小の子ども歌舞伎を五代目につかりと引き継いで卒業したいと思っています。



白浪五人男の様子

**日置農業高校 連絡帳**



**修学旅行で学んだこと**

つちだ ともや  
**槌田 誠也** さん  
 日置農業高等学校 2年

先日、私たちは修学旅行で沖縄に行きました。沖縄そばをつくったり、語り部さんのお話を聞いたり、沖縄の文化や歴史を学ぶことができました。

その中で、一番印象に残っていることは、戦争の傷跡が消えていないということ。沖縄は日本で唯一地上戦が行われた場所です。その時、人々はアメリカ軍からの攻撃を逃れるため、壕に逃げ込みました。しかし、壕の中の生活は過酷で、結局逃げきれず命を落としていったのです。

私たちはその壕の中に入り、ガイドさんのお話を聞きました。中はほんとに真っ暗で何も見えず、戦争時にこの壕を駆け回るなんてとても危険で、信じられないことだと思いました。

た。また、爆風で天井にトタンがくっついていて、そののを見て、当時の残酷さを強く感じました。

現代、戦争のことを知っている人は少ないかもしれませんが、その当時の人たちは、自分のやりたい事も出来ずに亡くなっていました。私たちは、今生きていることに感謝し、思いやりの心を持つて行動していきたいと思っています。



修学旅行の様子